

第13回 「J.Tの森積丹」 春の森林保全活動 丹呉J.T取締役会長が来町

6月17日、日本たばこ産業株

式会社（「J.T」と協働しての「J.Tの森積丹2017年春」森林保全活動が開催され、J.T社員や家族の皆さん、町民の皆さんなど約120人が参加しました。

今年で7年目（13回目）を迎えた森林保全活動は、美国川流域エリアで行われ、1回目（平成23年）に植栽したトドマツの下刈作業を行い、晴天の下で、懸命にカマを手に汗を流しまし



た。

午後からは、バードコール作製や丸太の早切り、ビンゴゲームを行い、優勝チームにはJ.Tの森で採れた木材とウニ殻を活用した「ウニのランタン」がプレゼントされました。

また、参加者が心待ちにしていた昼食には、積丹観光協会がシーフードカレーを振る舞い、おかわりに列が出来るほど好評でした。

今回の活動には、J.T取締役会長の丹呉泰健氏（写真左上）も参加され、参加者と一緒に下刈作業を応援されました。丹呉

会長は、全国に9箇所あるJ.Tの森の中でも最大規模を誇る「J.Tの森積丹」と半島最先端の町の景観と立地に大きな期待を寄せていました。

この森は「海を育む水源の森に」という理念の下、森林整備



や保全活動を平成23年度から行っています。当町の基幹産業を支える水産業を守るためにも必要不可欠な活動です。

今後もJ.Tの皆さんをはじめ、国・道の関係機関の皆さん、町民の皆さんの参加をいただきながら、『海を育む水源の森』保全活動や、当町が誇る様々な地域資源を活用した取組を進めていきたいと思います。

第4回 どっとい積丹 さくらます祭り

5月27日、余別町のサクラマスサンクチュアリーセンターで積丹観光協会（佐藤勝次会長）と余別・海HUGくみあい（澤貴幸会長）が協働する「どっとい積丹さくらます祭り」が開催され、あいにくの天候にもかかわらず、町内外からの来場者でにぎわいました。

今回で4回目となるさくらます祭りでは、サクラマスの稚魚の放流や豪華景品が提供された「げんきの森宝さがしゲーム」が行われたほか、『地元漁師の「積丹市場」』では、獲れたての鮮魚の販売も行われました。



昼食には地元若手漁師などが腕を振ったサクラマスのチャンチャン焼きなどが振る舞われ、来場者はサクラマスと余別の自然を「学び」と「食」の両方で楽しみました。

豊かな海を育むための「森・川・海」の栄養循環を支えるサクラマス。サクラマスが暮らす保護河川「余別川の価値」を伝え守る取組は、郷土の誇りと、町の活性化・振興に貢献しています。